令和８年度
岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	縮　尺
Ｍ－００	表紙　・　図面リスト	―――
Ｍ－０１	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	―――
Ｍ－０２	便所平面詳細図（床湿式洋式化）　２階以上階（ﾊﾟﾀｰﾝ１，ﾊﾟﾀｰﾝ２）	１：20
Ｍ－０３	便所平面詳細図（床湿式洋式化）　２階以上階（ﾊﾟﾀｰﾝ３，ﾊﾟﾀｰﾝ４）	１：20
Ｍ－０４	便所平面詳細図（床湿式洋式化）　１階部改修（ﾊﾟﾀｰﾝ５，ﾊﾟﾀｰﾝ６）	１：20
Ｍ－０５	便所平面詳細図（床湿式洋式化）　２階部改修（ﾊﾟﾀｰﾝ７，ﾊﾟﾀｰﾝ８）	１：20
Ｍ－０６	便所平面詳細図（床湿式洋式化）　屋外便所（ﾊﾟﾀｰﾝ９，ﾊﾟﾀｰﾝ１０）	１：20
Ｍ－０７	岡山市域図（福田中学校、福田小学校）	１：250000
Ｍ－０８	配置図（福田中学校）	１：500
Ｍ－０９	配置図（福田小学校）	１：500

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）					Ｎｏ．	
図面名	表紙・図面リスト			縮尺	A1 － A3 －	M-00	
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

岡山市建築設備工事（機械）仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所　　岡山市南区山田544番地3ほか

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積（㎡）	消防法令別表１	備 考
福田中学校	鉄筋コンクリート造	3階	1,449	(7)	
福田小学校	鉄筋コンクリート造	4階	2,164	(7)	

3 工 事 種 目　（○印のついたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事種別				
	建物				
	福田中学校	福田小学校			
・ 衛生器具設備	○	○			
・ 給水設備	○	○			
・ 排水設備	○	○			
・ 給湯設備					
・ ろ過循環設備					
・ 消火設備					
・ ガス設備					
・ 空気調和設備					
・ 冷暖房設備					
・ 換気設備					
・ 自動制御設備					
・ 厨房器具設備					

Ⅱ 工 事 仕 様

1　共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）最新版による。

2　特記仕様

1)　適用項目番号に○印のついたものを適用する。

2)　特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし○印のない場合は※印を適用する。

	適用	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	①	機 材	岡山市公共建築設備機器材料等指定名簿に規定するものとし、同等品とする場合は監督員の承諾を受ける。図示する品番・寸法・姿図及び形状は参考であり、製品及び製造所を指定するものではない。また、図示する形状及び配管などの取出し位置により、特定製造業者の製品を指示、限定しない。「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断基準、配慮事項を満たすものとする。
	2	主任技術者等の資格	※　資格の区分　Ⅰ(1級管工事施工管理技士)　Ⅱ(2級管工事施工管理技士)　・ 適用しない
	③	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び雑手続きの費用はすべて受注者の負担とする。
	4	技 能 士 の 適 用	・ 配管施工（建築配管作業）・ 熱絶縁施工　・ 冷凍空気調和機器施工　・ 建築板金技能士
	5	工事用仮設物	※　関連工事の関係者が設置する足場、作業構台の類は無償で使用できる。
	6	土 工 事（埋設配管は23による）	イ）埋め戻し土は　・ 山砂の類　・ 根切り土の中の良質土 ロ）残土処分は　※ 構外に搬出し適切に処理　※ As,Coは適法に処理すること ・ 構内敷均し　・ 構内の指示める場所に堆積
	⑦	発 生 材 の 処 理	引渡しを要するもの　※ なし ・ あり（ ・ 機器類 ・ 配管材料 ・ ）
	8	説 明 板	監督員と協議のうえ、設備機器類（ボイラ、冷凍機、各種ポンプ、空気調和機など）及び一連の装置などの取り扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
	9	電気容量及び機器表示	イ）電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。 ロ）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
	10	負 担 金	・ 給水引込負担金　（ ※ 別途 ・ 本工事） ・ ガス引込負担金　（ ※ 別途 ・ 本工事）
	11	電 線 ・ 電 線 管	イ）特記なき電線は６００Ｖ耐燃性ポリエチレン絶縁電線とする。 ロ）特記なき電線管は薄鋼電線管又は監督員の承諾を得た場合は同一外径のねじなし電線管とする ハ）可とう電線管は第２種金属可とう電線管とする。
	12	機器付属の制御盤	標準仕様書によるほか下記による。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ 接点及び端子は、仕様書を（ ※ 適用する。 ・ 適用しない。） ・ ボイラ及び冷温水機等の付属盤の始動スイッチニ次側に、煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ・ インバータ用の制御及び操作盤は、仕様書を（ ※ 適用する。 ・ 適用しない。）
	13	塗 装	塗装業者は、※ 監督員の承諾する業者　・ 日本塗装工業会会員 複管の内見えがかり部（戸棚等の内部を含む）は全て塗装を施すこと。（電線管含む）
	⑭	保 温	イ）保温の種別、材料、施工順序及び厚さは標準仕様書による。 ロ）保温材質は下記による。 ⊙ 給排水、通気、ろ過循環　（ ・ ポリスチレンフォーム　⊙ 既存補修部のみグラスウール） （床下、屋外露出、暗渠内はポリスチレンフォームとする。） ・ 給湯管、鋼板製水槽、貯湯槽等　（※ グラスウール） ・ 消火管　（ ・ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム） ・ 蒸気管　（※ ロックウール） ・ 排気筒、煙突、煙導　（※ ロックウール） ・ 空調設備配管、ダクト　（※ グラスウール） ・ 排煙ダクト　（※ ロックウール） ・ 排気筒　（ ・ ロックウール　・ グラスウール） ハ）屋内露出（ ・ 機械室 ・ 書庫 ・ 倉庫）の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。 ニ）屋外設置機器の外装仕上げは（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ 溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ホ）屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ 溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ヘ）ピット内配管の外装仕上げは（ ・ 着色ｱﾙﾐｶﾞﾃﾝｸﾛｽ ・ 保温なし）とする。 ト）保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。 備考 1　屋内露出及び機械室、倉庫、書庫の配管にはバンド・菊座を取付けること。 2　水槽類は特記のある場合のみ保温を行う。 3　建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する給排水管及び通気管並びに消火管は貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて保温を施すか、建設省告示第1422号(平成12年)又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。 4　流し類下部の排水露出管は保温を施さない。 5　保温を施す屋外露出配管の支持部は全て防温性能を有する合成樹脂製支持台（丸形）によること。また、支持バンドは原則としてラッキングの上より支持を施す。 6　コンクリート埋設の鋼管類にはプラスチックテープ（JISZ1901　厚さ0.4mm）1/2重ね2回巻きとする。 7　埋設フレキシブル継手にはペトロタラム系防食テープを1/2重ね1回巻きの上、プラスチックテープを1/2重ね1巻きとする。
	15	亜鉛鍍面下地処理	亜鉛鍍面の下地処理はエッチングプライマ塗りとする。
	16	防 振 継 手	・ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）　※ 合成ゴム製 ・ ポリテトラフルオロエチレン製(3山)
	17	フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）　・ 合成ゴム製
	⑱	は つ り 工 事	既存のコンクリート床・壁等の貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	⑲	補 修 な ど	工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならい補修をする。
	20	他工事との取合い	イ）鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他天井のボード切込み及び下地の補強は ・ 本工事　※ 別途工事 ロ）コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、風道、配管等の箱入れ及び貫通スリーブ部は ※ 本工事　・ 別途工事 ハ）機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線は　※ 本工事　・ 別途工事 ニ）別途盤類への渡り配線の接続は　・ 本工事　※ 別途工事 ホ）機器のコンクリート基礎　屋上設置のもの　・ 本工事　※ 別途工事 屋内設置のもの　・ 本工事　※ 別途工事 屋外設置のもの　・ 本工事　※ 別途工事 ヘ）自動制御の電線管は　・ 本工事　・ 別途工事 ト）自動制御の電線の配線は　・ 本工事　・ 別途工事 チ）自動制御盤と自動制御機器との配線の接続は　※ 本工事　・ 別途工事
	㉑	配 管 表 示	配管機器等は監督員の指示する箇所に文字矢印を記入し、弁にはプラスチック札を取付けること。札の文字等は彫り込みとし、SUSチェーンにて取付けのこと。
	22	土中埋設配管周囲の保護	イ）管周囲の保護　※ 山砂の類　・ 根切土の中の良質土
		砂及び埋め戻し土・盛土	ロ）埋戻し土・盛土　※ 根切土の中の良質土　・ 山砂の類
	23	埋 設 表 示	イ）埋設表示テープ　※ 要（ ※ 給水　※ 消火　※ ガス ・ 排水 ・ 圧送管）　・ 不要 ロ）埋設標示柱・埋設標示ピン（ ※ 要 ・ 不要）
	㉔	支持金物、固定金具等	ポンプのアンカーボルト・ナット及びビット内等水気のある場所、屋外の機器・配管用の支持金物等は、ステンレス鋼（SUS304）とする。土中支持もステンレス鋼（SUS304）とする。
	25	あと施工アンカー	施工後確認試験（ ※ 要 ・ 不要） 試験方法　引張試験機による引張試験 確認強度　対象機器ごとのｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ1本当たりの短期引抜強度の2/3以上 試験箇所数　1施工単位に対し１本以上 対象機器　・重要機器
	26	ポンプの電動機の極数	渦巻ポンプの電動機の極数は　（ ・ ４Ｐ　・ ２Ｐ）
	27	ポ ン プ の 名 板	水中ポンプの名板は監督員の指示により見やすい所に取付けのこと。
	28	保 守 工 具	下記の保守点検に必要な工具一式を提出する。 ・ ポンプ　・ 送風機　・ 吹出口　・ 桝　・ その他
	29	岡山市標準施工図	参照　※ する　・ しない
	30	耐震措置	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 イ）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数と、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設 ・重要機器	・ 特定の施設 ・一般機器	・ 一般の施設 ・重要機器	・ 一般の施設 ・一般機器
上 層 階 屋上及び塔屋	機 器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振設置機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水 槽 類	2．0	1．5	1．5	1．0
中 間 階	機 器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振設置機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水 槽 類	1．5	1．0	1．0	0．6
地下・１階	機 器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振設置機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水 槽 類	1．5	1．0	1．0	0．6

上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。

中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。

水槽類にオイルタンクを含む

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また一般機器とは重要機器以外をいう。

・ 給水機器　（　　）

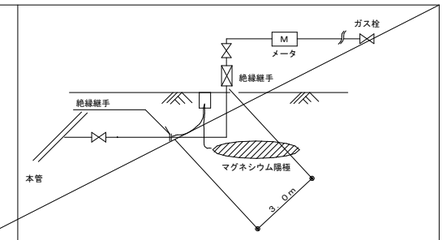
・ 排水機器　（　　）

・ 換気機器　・ 空調機器　・熱源機器　・防災機器

・ 監視制御設備　・ 危険物貯蔵装置　・ 火を使用する設備

・ 避難経路上に設置する機器

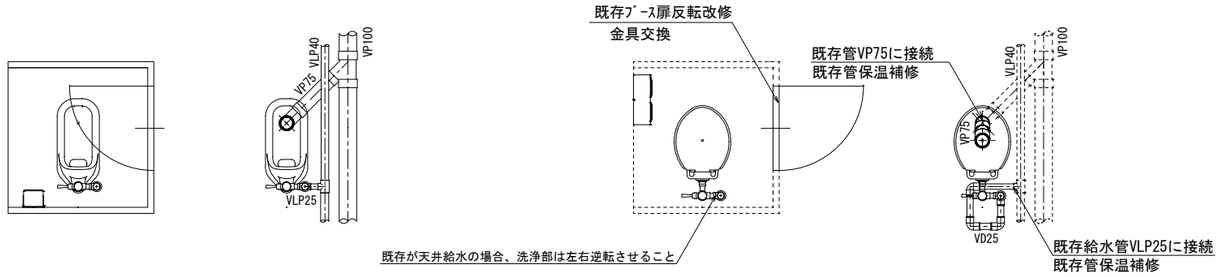
ロ）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１/２とする。

	31	ス リ ー ブ	※ 亜鉛鉄板　※ つば付鋼管（水密部）　・ 紙　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 止水リング（ ・ 無機物材質：水密部　・ 有機物材質：水密部以外）
	㉜	振 れ 止 め	ダクト、配管等にあっては、標準仕様書の振れ止めの他必要な箇所に施工する。
	33	道路使用	※ 施工等で道路を使用する際は道路使用許可等の手続きを行うこと
衛生器具設備	①	大便器・小便器	陶製又はプラスチック製の注意板の取付けは　※ 設計図による。　・ 取付ける。
	②	洗浄用タンク	※ 防蚊形陶器製とする。　・ 設計図による。
	③	洗浄用タンク固定金物	※ フタ固定金物付とする。　・ 設計図による。
	④	大便器用洗浄弁	節水機構とする。
	5	温水洗浄便座	温水洗浄便座は、次の機能を有するほか、JIS A 4422(温水洗浄便座)によるものとする。 ・ 温風乾燥機能　・ 脱臭装置　・ 操作ボタン
	⑥	陶 器 の 色	監督員の指示による。
給水設備	1	量 水 器	親メータは水道事業者からの借用、子メータは買取りとする。
	2	量 水 器 桝	※ 水道事業者の指定品とする。　・ その他
	③	管 類	下記のものは本仕様による。 イ）一般配管用 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・SGP-VB ⊙SGP-VD ・SGP-VA）　・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・HIVP）　・ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰ管　・ その他 ロ）土間配管、コンクリート壁中 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD）　・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰ管　・ その他 ハ）地中配管用 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD）　・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・HIVP） ・ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)　・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管　・その他 ニ）ピット配管用 ※ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・SGP-VB ⊙SGP-VD）　・ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・HIVP）　・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰ管 ・ その他
	4	ライニング鋼管接続	100Ａ以上の接続　※ ねじ込み接合　・ 標準仕様書による
給水設備	⑤	弁 類	イ）公営水道に直結する配管に使用するものはJIS又はJV 10Kとする。 ロ）高置水槽以降の配管に使用するものはJIS又はJV 5Kとする。ただし、揚水ポンプに使用するもの及び特記部分はJIS又はJV 10Kとする。 ハ）65Ａ以上の鋳鉄製仕切弁、鋳鉄製逆止弁は、ライニング弁とする。50Ａ以下の仕切弁、青銅製逆止弁は管端コアボルブとする。 ニ）埋設箇所は埋設用バルブとする。
	6	定 流 量 弁	取付ける。
	7	水槽周り可とう継手	合成ゴム製（２山以上）
	8	埋 設 深 度	岡山市水道給水装置施工基準に適合する他図示による
	⑨	ライニング鋼管管端処理	※ 管端防食継手　・ 防食コア　・ その他
	10	敷水栓ボックス	・ 蓋はＳＵＳ製鋳付とする。
	11	給水管の使用許可	※ 給水管所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
	⑫	水質基準	水道法に定める水質基準を満たすことのできる管、弁、継手を使用すること
排水設備	①	屋 内 汚 水 管（第１例まで含む）	・ 便槽付属品　・ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管　・ 耐火二層管 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ）　・ その他
	2	屋 内 雑 排 水 管（第１例まで含む）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管　・ 耐火二層管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管　・ その他 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ）　・ その他 ※鋼管を使用する場合　汚水合流系統の配管は　とする
	3	通 気 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・ その他
	4	屋 外 排 水 管	※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＵ）　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＰ）　・ ﾘﾀﾞｲﾔﾗﾝ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(RS-VU) ・ 耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ﾎﾟﾝﾌﾟ圧送管）　・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ その他
	5	排水トラップ	ワン材質　（ ・ 樹脂コーティング　・ 樹脂製　・ 標準品）
	6	ます	※ 岡山市標準施工図　・ 塩化ビニル製ます　・ 樹脂製ます ・ 既製コンクリートます　・ その他
	7	グリーストラップ	ＳＵＳ製残菜カゴを　※ 取付ける　・ 取付けない
	8	マンホール鎖	ＳＵＳ製鎖とする
	9	共 枝 鎖	ＳＵＳ製鎖とする
	10	満水試験桝	図示の位置に取り付ける。
	11	洗面台接続	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。
	12	プール排水管	露出部は塗装仕上げとし保温しない
	⑬	排水処理先	・ 公共下水道（ ・ 分流式　・ 合流式 ）　⊙ 合併浄化槽（ ・ 新設 ⊙既設 ）　・ その他
給湯設備	1	管 類	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（※ 拡管式　・ 溶接接合　・ その他）　・ 銅管M形　（ ・ 保温付 ・ 保温なし） ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 ・ 耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・ その他
	2	弁 類	JIS又はJV 5Kとする。ただし、特記部分は 10K とする。
	3	膨張水槽の保温	※ 施工する　・ 施工しない
	4	給湯用熊谷ボイラ	ガスバーナはガンタイプとする。
	5	ライニング鋼管管端処理	ＳＵＳ製コア内蔵継手（100Ａ以上防蝕コア）
ろ過循環設備	1	ろ 過 装 置	能力　・ 60m3/ｈ　・ 100m3/ｈ
	2	ポンプ周り配管	可とう継手　・ 付ける　・ 付けない 圧力計　・ 付ける　・ 付けない
	3	循 環 配 管	給水設備による。
	4	弁 類	給水設備による。
	5	保 温	プールサイド下部は　・ 屋外露出仕様　・ 床下暗渠仕様 プールサイド下部の室内は　・ 屋外露出仕様　・ 機械室・倉庫仕様　・ 床下暗渠仕様
消火設備	1	屋内消火栓箱	・１号消火栓　（ ※ 国土交通省仕様　・ その他 ） ・易操作性１号消火栓　（ ※ 国土交通省仕様　・ その他 ） ・２号消火栓　（ ・ ドラム式　・ リール式　・ その他 ）　※ 広範囲型２号消火栓
	2	消火栓弁の耐圧	最大使用圧力とする。
	3	消 火 栓 弁	減圧機構付消火栓弁を　※ 取付ける　・ 取付けない
	4	保 温	イ）配管の保温は　・ 施工する　※ 施工しない （屋外露出の保温種別は　e2・(ハ)・(ヘ)　による） ロ）呼水槽の保温は　・ 施工する　※ 施工しない ハ）充水槽の保温は　・ 施工する　※ 施工しない
	5	フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）
	6	消 火 ポ ン プ	※ ユニット型　制御盤はユニット組込みとする。　※ 日本消防設備安全センター認定品とする。
	7	管 類	イ）一般配管用　※ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白管） ロ）土中配管用（土間を含む）　※ 消火用外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VS） ・ 消火用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)　・ その他
ガス設備	1	供給ガスの種類	・ 都市ガス　（ ※ 13A　発熱量　46MJ/m3　） ・ 液化石油ガス　（ 発熱量　100.47MJ/m3 ）
	2	管	イ）一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管　（ ・白管　・黒管 ） ・ ポリエチレン被覆鋼管　・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ロ）地中配管（土間を含む） ・ ポリエチレン被覆鋼管　・ ガス用ポリエチレン管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	3	ガ ス メ ー タ	※ メータはガス供給業者より借用、子メータは買取りとする。 （・マイコンメータ　・その他）
	4	ガスメータの取付	※ 本工事に含む　・ その他
	5	緊急遮断弁の取付	・ 本工事に含む　・ その他
	6	供給方式	・ ボンベ　・ バルクタンク
	7	ボンベ周りの配管	※ 自動切替式
	8	プロパン庫警戒標識	指定の箇所に取付ける
	9	ボンベ転倒防止	※ 岡山市標準施工図による　・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）施工73(b)
	10	管の地中埋設深さ	・ 一般　300mm以上　・ 車両通路　600mm以上　・ 1,200mm以上
	11	沈下対策措置	※ 伸縮継手　・ 溶接配管　・ 機械的接合　・ 継手の組合せ
	12	電 気 防 蝕	※ なし　・ あり（ ・ 流電陽極法　・ その他 ）
	13	耐震対策設計	耐震設計にあたり「内管耐震設計マニュアル（一般建築用）平成11年10月」「高層建築物用ガス設備耐震設計・施工指針」の手引き昭和62年11月」いずれも社団法人日本ガス協会発行を参照する。 備考 1　埋設配管の継手部周りの防食処置は、標準仕様書　第６編第２章都市ガス設備2.2.5よりガス事業者の承認する工法による。 2　配管の吊り及び支持は絶縁処理を施す。 3　塗装仕上げにおいて仕様書以外で必要な箇所は明記する。 4　マグネシウム陽極の設置基準 ①　低圧埋設配管で溶接接合による100Ａ以上の鋼管部分の延長が3m以上ある場合は、絶縁継手を取り付け、さらにマグネシウム陽極（犠牲陽極）を設置する。
ガス設備			 ②　中間圧・中圧埋設配管の場合は埋設延長にかかわらず絶縁継手とマグネシウム陽極を取り付ける ③　その他埋設配管場所が酸性の強い土壌、腐蝕性の強い薬品を扱う工場敷地及びその周辺、湿地帯、海水の影響を受ける場所、鉱さい等による埋立地等、特に腐蝕性が強いと判断される場所の場合は、防食措置を別途検討する。
空気調和・冷暖房・換気設備	1	設計用温湿度条件（温湿度調整目標値）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築設備設計基準(最新版)
	2	冷水・温水・冷温水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管　・ 高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)
	3	ド レ ン 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ ﾘﾀﾞｲﾔﾗﾝ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発砲三層管（RF-VP）・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
	4	冷 却 水 管	※ 塩化ビニルライニング鋼管　（ ・ SGP-VB　・ SGP-FVB ） ・ ステンレス鋼鋼管　・ 高性能ポリエチレン管(HPPE)
	5	膨張・空気抜き・補給水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ 高性能ポリエチレン管(HPPE)
	6	油 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）
	7	冷 媒 配 管	※ 断熱材被覆銅管（標準仕様書による）　・ 機器の標準品（保温共）
	8	弁 類	JIS又はJV 5K とする。ただし、特記部分は 10K とする。
	9	ファンコイルユニット	イ）・ 流量調整弁を取付 ロ）・ 定流量弁（ ・ ダイヤフラム式流量可変式　・ カートリッジオリフィス形）取付 ハ）遠方操作スイッチの渡り配管　・ 本工事　・ 別途工事 ニ）遠方操作スイッチの渡り配線　※ 本工事　・ 別途工事 ホ）遠方操作スイッチのプレートは金属製とする。 ヘ）ドレンパンは　・ ＳＵＳ製　・ 鋼板製　・ 合成樹脂製
	10	吹出口・吸込口	原則、ボックスは亜鉛鋼板製とする。 枠及びスリットの材質は ※ アルミニウム製　（ ※ 着色する　・ 着色しない）
	11	ダ ク ト	イ）低速ダクトとする。 ロ）矩形ダクトは、　・ アングル工法　・ コーナーボルト工法 ハ）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
	12	防煙・防火ダンパ	防煙ダンパは、　※ 電気式　・ 空気式 ダンパ復帰機構は、　※ 遠隔式　・ 手元式 電気式防煙ダンパ動作用電圧、電流はDC24V、0.6A以下とする。
	13	風 量 測 定 口	取付位置は図示による。材質はアルミニウム製とする。
	14	吹出口チャンバ	イ）シーリングディフューザ形吹出口には、下記のチャンバを設ける。 ネック径が200Φ以下　400×400×250H ネック径が200Φを越えるもの 500×500×300H ロ）外壁に面するガラリにチャンバ等を設ける場合には原則として排水を設ける。 イ）シーリングディフューザ形吹出口接続チャンバ及び図示したダクト並びにチャンバ類とする。 ロ）内貼チャンバ類の寸法表示は、外形寸法とする。 ハ）吹出口以外の内貼したチャンバには点検口（450×500）を取付ける。
	15	消 音 内 貼 り	
	16	瞬 間 流 量 計	形式はピトー管式（コック付）とする。取付は図示による。
	17	温 度 計	標準仕様書及び図示の箇所のほか、下記の箇所に取付ける。 ・ 温水ボイラの温水管入口部 ・ 空気調和機類りの運気風道、外気風道及び給気風道 ・ 冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せの各道り管 機器付属以外の温度計は　※ 円形のバイメタル式（100Φ以上）　・ ブルドン管式
	18	冷温水管の空気抜き	イ）空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。　※ 手動　・ 自動 ロ）自動空気抜き弁にはストレーナを取り付ける。
	19	防振吊り金物及び防振支持金物	中央機械室の冷却水管・冷温水管等の吊り及び支持は、防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
	20	温度調節器・湿度調節器	取付高さは　※ 1,300mm　・ mm
	21	エアフィルタの予備品	イ）空気調和機又はフィルタチャンバ装着枚数の50%以上を予備品（枠付）として納める。 ただし、自動巻取形の場合は100%とする。 ロ）ファンコイルユニットは機種毎に30%以上、また、空冷ヒートポンプ室内用は100%に当たるフィルタを予備品（枠付）として納める。　最低１枚とする。
	22	グリスフィルタの予備品	※ 100%に当たる予備品を納める。　・ 納めない。
	23	防 振 基 礎	イ）送風機の防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は　%とする。 ロ）ポンプの防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は　%とする。
	24	冷媒配管の保温カバー	イ）屋内露出部の保温化粧カバーは（ ・ 樹脂製　・ ｶﾗｰ亜鉛鉄板　・ その他）とする。 ロ）屋外露出部は（ ・ ステンレス鋼板　・ 樹脂製化粧カバー　・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板　・ その他）
	25	保 温	イ）全熱交換機の（ ・ 給気ダクト　・ 排気ダクト ）は保温する。 ロ）還りダクトは保温　・ する。　・ しない。 ハ）ポンプは保温　・ する。　・ しない。 ニ）ポンプ回りの防振継手、フレキシブル継手は保温　・ する。　・ しない。 ホ）換気ダクト（ ・ 給気ダクト　・ 排気ダクト）は保温する。
	26	ス リ ー ブ	エアコン本体は将来工事の為、スリーブ(樹脂製キャップ付き)のみ今回工事とする。
	27	冷 媒 等 の 処 理	※ 業務用機器「第一種特定製品」のフロン類はフロン排出抑制法に従って処理すること。 ・ 家庭用機器（ ・ 室外機にフロン回収後、取外し指定場所保管　・ 本工事対象外） ・ 吸収式冷温水機（ ・ 産業廃棄物広域認定制度　・ 産業廃棄物） ・ 吸収式冷凍機の吸収液（ ・ 産業廃棄物広域認定制度　・ 産業廃棄物）

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）				Ｎｏ． M-01 / M-09		
図面名	岡山市建築設備工事（機械）仕様書			縮尺			
	岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課			令和　8年　3月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

R8.04

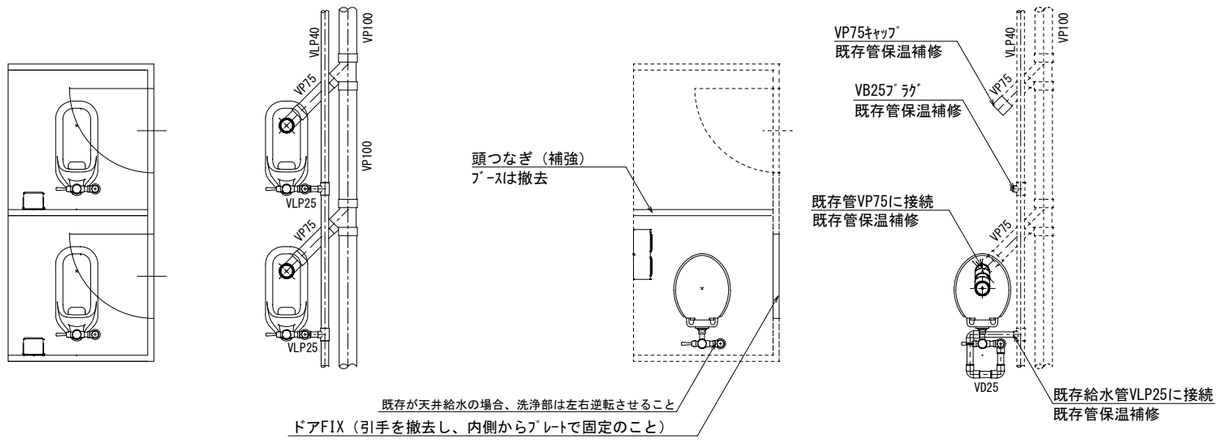
パターン１



改修前

改修後　----------既存残置を示す
———取替または改修個所を示す

パターン２



改修前

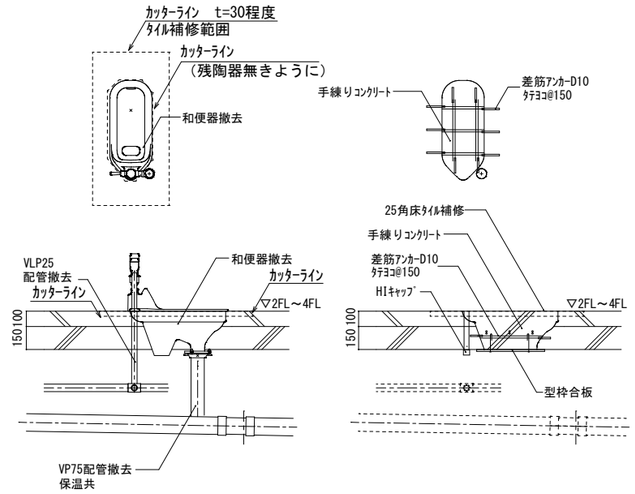
改修後　----------既存残置を示す
———取替または改修個所を示す

機械設備

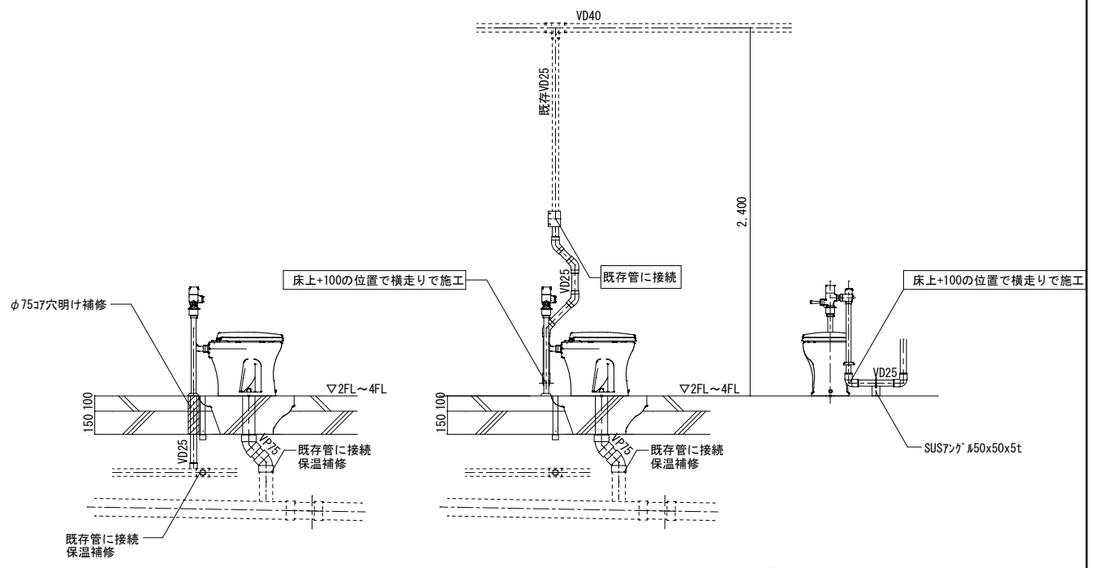
記　号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	低圧ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ式,普通便座（蓋有り）	CS140#NW1,HP430-7,TV550S,TSF640LR,T82CR32 T56PH×2,TS152-1,TC300#NW1	YCP-P13S,CF-8AWP,CF-63UT,CF-103BB CF-115M-1,CF-115M-2,CF-47AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通　給水管	SGP-VD	継手(VD),一部(VB),露出部は塗装無し,保温なし	
		既存給水管より分岐、一部保温補修	
排水管	VP	改修個所は保温なし	
		廃止の排水管は分岐部でキャップ止め	
便所ブース一部改造	ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。		
	ドアFIX（引手を撤去し、内側からﾌﾟﾚｰﾄで固定のこと）		
	表示付きのカギへ取替えること。		
	既存ブースを可能な限り利用すること。		
その他	床：既存（湿式）のままのこと。		
	天井：既存のままのこと。		
	壁：既存のままのこと。		

共通事項



和便器撤去跡改修要領図



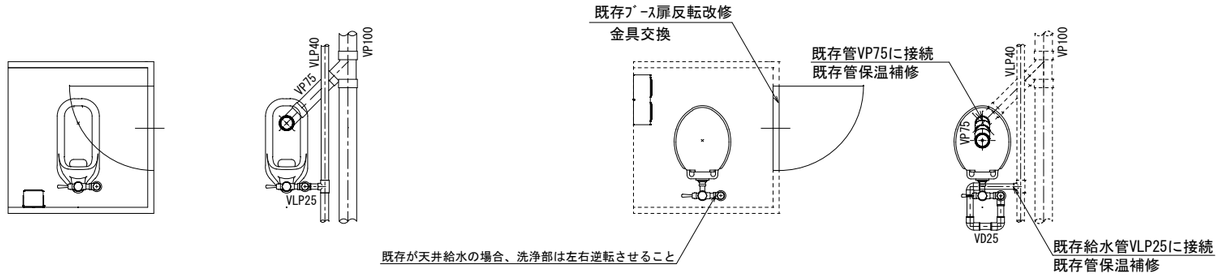
＊既存が天井給水の場合

洋便器設置要領図

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）				Ｎｏ. M-02
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） ２階以上階（ﾊﾟﾀｰﾝ１,ﾊﾟﾀｰﾝ２）	縮尺	A1 1/20 A3 1/40		
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課			令和８年３月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認 / 検図 / 製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

パターン３



改修前

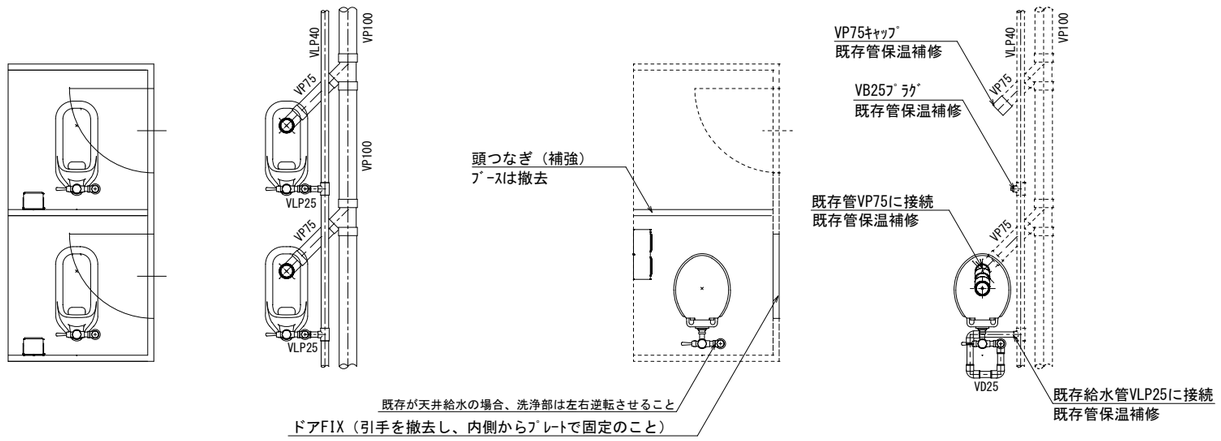
＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚取外し
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ1個取外し

改修後

----------既存残置を示す
————取替または改修個所を示す

＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚再取付
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ1個再取付け

パターン４



改修前

＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚取外し
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ2個取外し

改修後

----------既存残置を示す
————取替または改修個所を示す

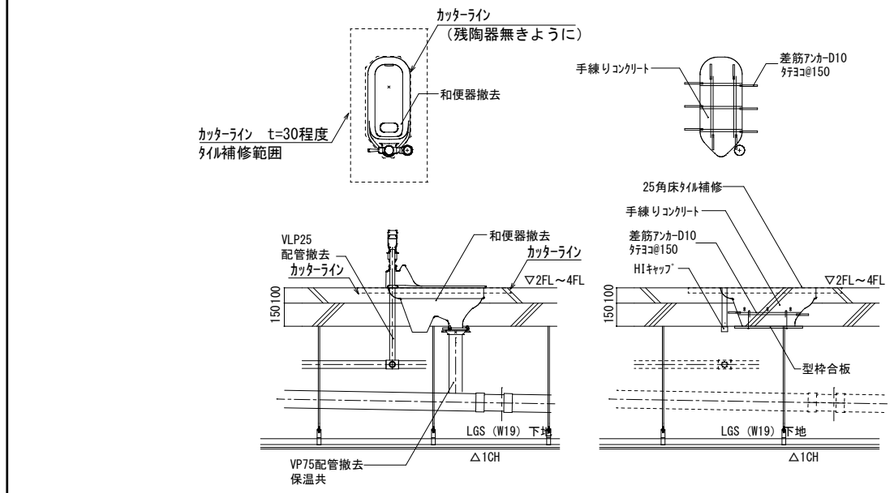
＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚再取付
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ2個再取付け

機械設備

記　号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	低圧ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ式,普通便座（蓋有り）	CS140#NW1,HP430-7,TV550S,TSF640LR,T82CR32 T56PH×2,TS152-1,TC300#NW1	YCP-P13S,CF-8AWP,CF-63UT,CF-103BB CF-115M-1,CF-115M-2,CF-47AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通　給水管	SGP-VD	継手(VD),一部(VB),露出部は塗装無し,保温なし	
		既存給水管より分岐、一部保温補修	
排水管	VP	改修個所は保温なし	
		廃止の排水管は分岐部でキャップ止め	
便所ブース一部改造	ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。		
	ドアFIX（引手を撤去し、内側からﾌﾟﾚｰﾄで固定のこと）		
	表示付きのカギへ取替えること。		
	既存ブースを可能な限り利用すること。		
その他	床：既存（湿式）のままのこと。		
	天井：既存の天井ﾎﾞｰﾄﾞ及び照明器具を取外し再取付けのこと。		
	壁：既存のままのこと。		

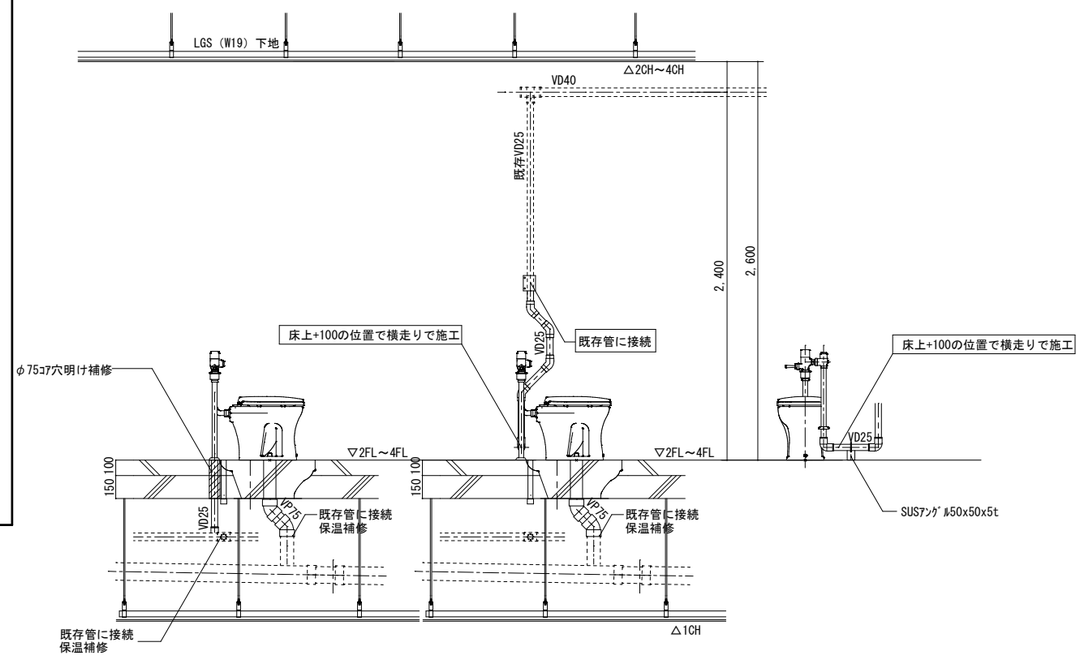
共通事項



パターン３　＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ1個取外し・再取付け

パターン４　＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ2個取外し・再取付け

和便器撤去跡改修要領図　＊下階に天井がある場合



＊既存が天井給水の場合

パターン３　＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ1個取外し・再取付け

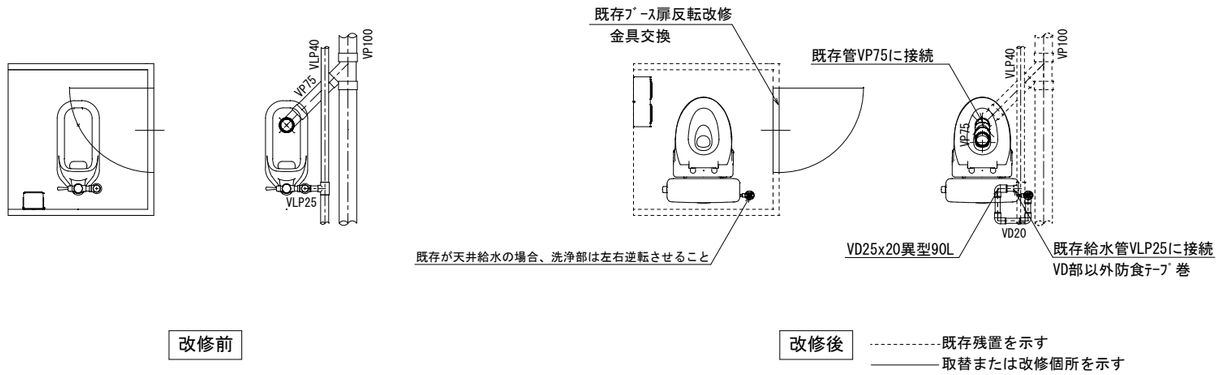
パターン４　＊455×910×9.5t化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ2個取外し・再取付け

洋便器設置要領図　＊下階に天井がある場合

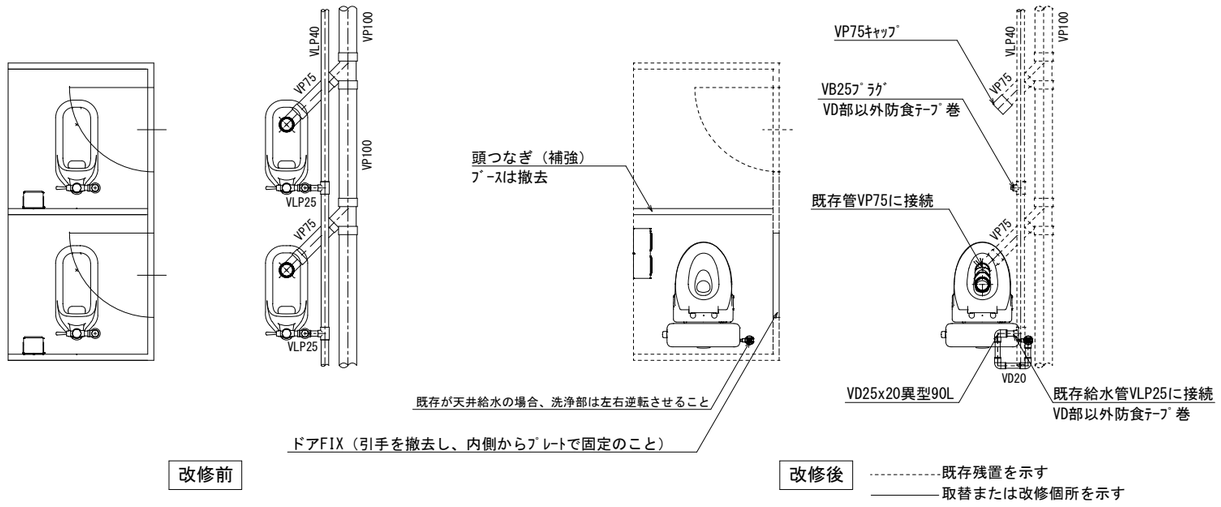
工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）				Ｎｏ. M-03		
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） ２階以上階（ﾊﾟﾀｰﾝ３,ﾊﾟﾀｰﾝ４）			縮尺 A1 1/20 A3 1/40			
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

パターン５



パターン６

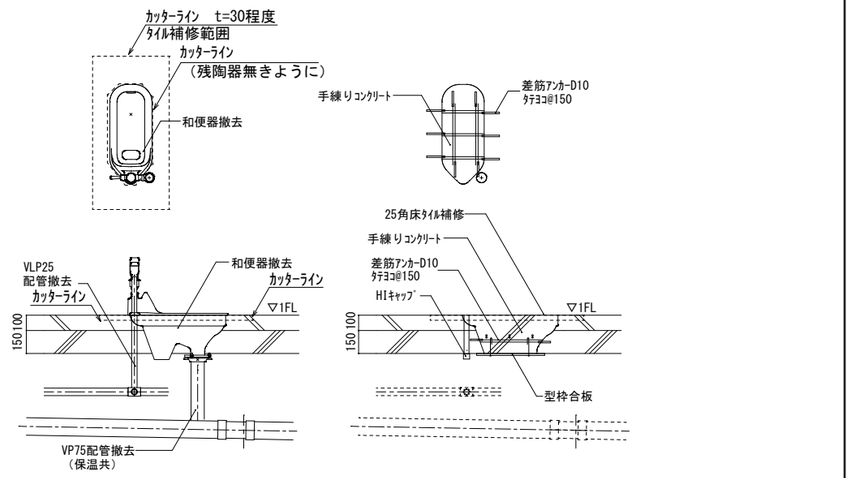


機械設備

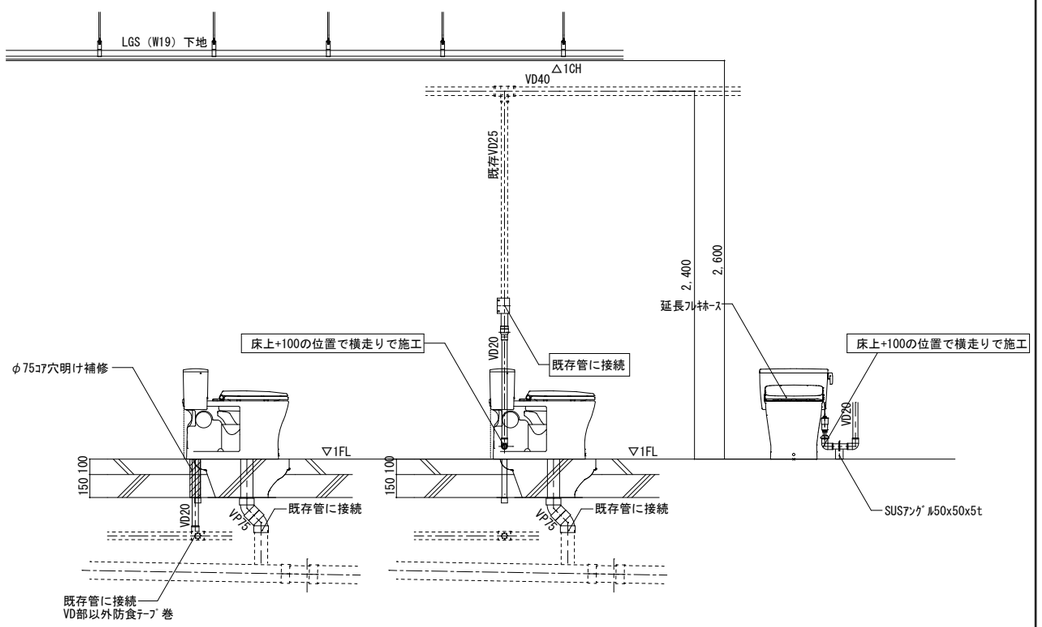
記　号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	ﾘﾓﾃﾞｭ掃除口付きﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 普通便座（蓋有り）	CFS498BMCT#NW1,TC301#NW1	BC-P110HM,DQ-PA150CH,CF-49AT 322-1165-630,A-10476
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP-VD	継手(VD),ﾋﾞｯﾄ部・土間部は塗装無し,保温なし
			既存給水管より分岐、一部保温補修、防食ﾃｰﾌﾟ巻
	排水管	VP	改修個所は保温なし
			廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造	ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。	
		ドアFIX（引手を撤去し、内側からﾌﾟﾚｰﾄで固定のこと）	
		表示付きのカギへ取替えること。	
		既存ブースを可能な限り利用すること。	
	その他	床：既存（湿式）のままのこと。	
		天井：既存のままのこと。	
		壁：既存のままのこと。	

共通事項



和便器撤去跡改修要領図

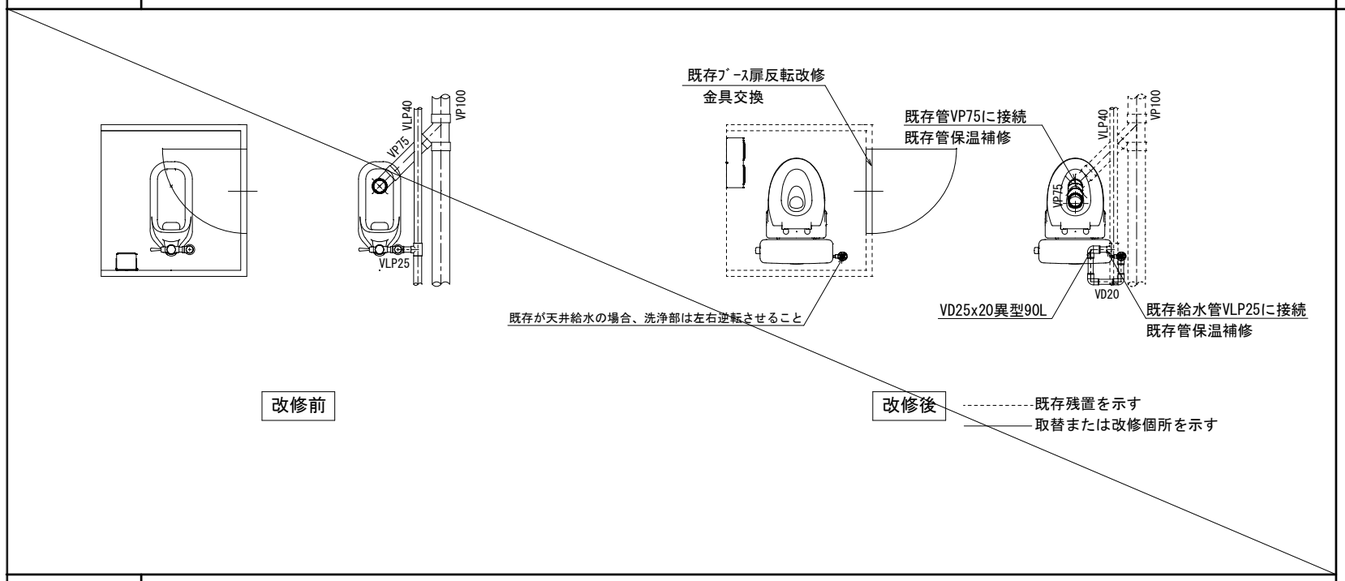


洋便器設置要領図

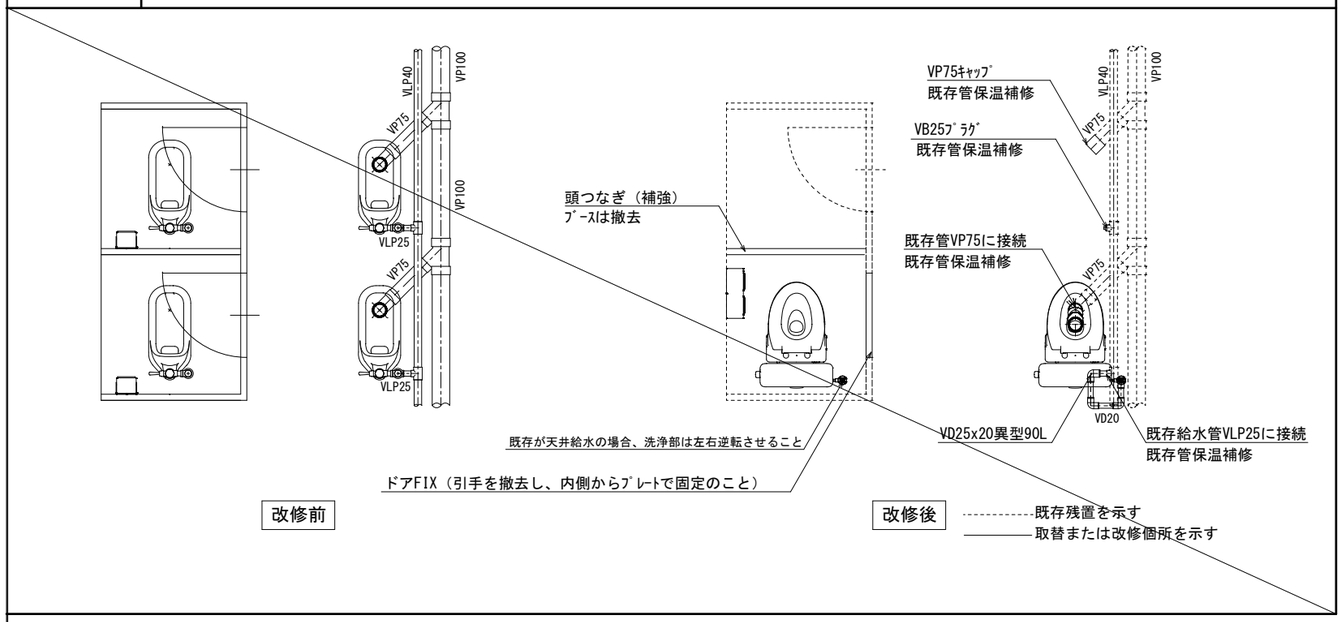
工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）			No.		
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） １階部（ﾊﾟﾀｰﾝ５,ﾊﾟﾀｰﾝ６）	縮尺	A1 1/20 A3 1/40	M-04		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課			令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

パターン７



パターン８

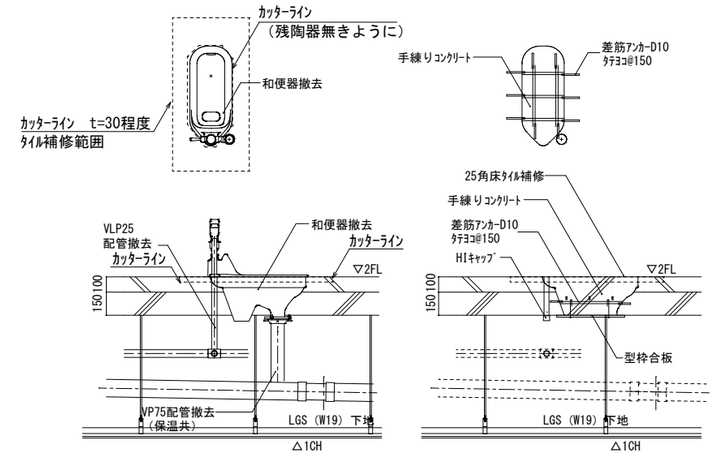


機械設備

記　号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	ﾘﾓﾃﾞｺﾝ掃除口付きﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 普通便座（蓋有り）	CFS498BMCT#NW1,TC301#NW1	BC-P110HM,DQ-PA150CH,CF-49AT 322-1165-630,A-10476
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通　給水管	SGP-VD	継手(VD),一部(VB),露出部は塗装無し,保温なし	
		既存給水管より分岐、一部保温補修	
排水管	VP	改修個所は保温なし	
		廃止の排水管は分岐部でキャップ止め	
便所ブース一部改造	ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。		
	ドアFIX（引手を撤去し、内側からﾌﾟﾚｰﾄで固定のこと）		
	表示付きのカギへ取替えること。		
	既存ブースを可能な限り利用すること。		
その他	床：既存（湿式）のままのこと。		
	天井：既存の天井ﾎﾞｰﾄﾞ及び照明器具を取外し再取付けのこと。		
	壁：既存のままのこと。		

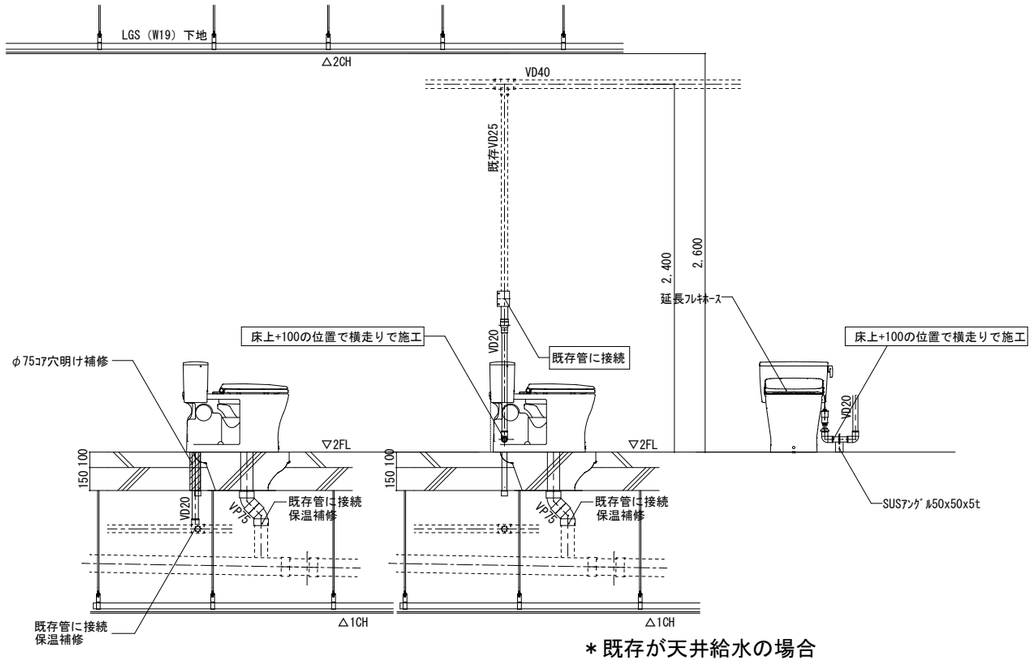
共通事項



パターン７　＊455×910×~~9.5t~~化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ1個取外し・再取付け

パターン８　＊455×910×~~9.5t~~化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚取外し・再取付け
＊ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ2個取外し・再取付け

和便器撤去跡改修要領図　＊下階に天井がある場合



＊既存が天井給水の場合

パターン７　＊455×910×~~9.5t~~化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 2枚取外し・再取付け
＊40型蛍光灯器具1個取外し・再取付け

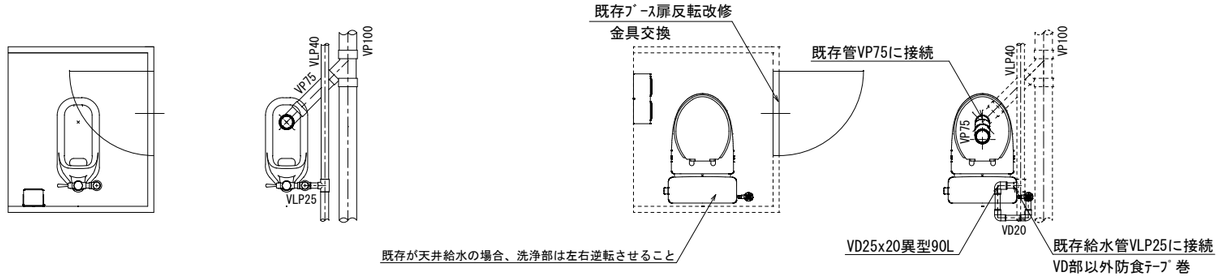
パターン８　＊455×910×~~9.5t~~化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 6枚取外し・再取付け
＊40型蛍光灯器具1個取外し・再取付け

洋便器設置要領図　＊下階に天井がある場合

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）				Ｎｏ. M-05		
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） ２階部改修（ﾊﾟﾀｰﾝ７,ﾊﾟﾀｰﾝ８）			縮尺 A1 1/20 A3 1/40			
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

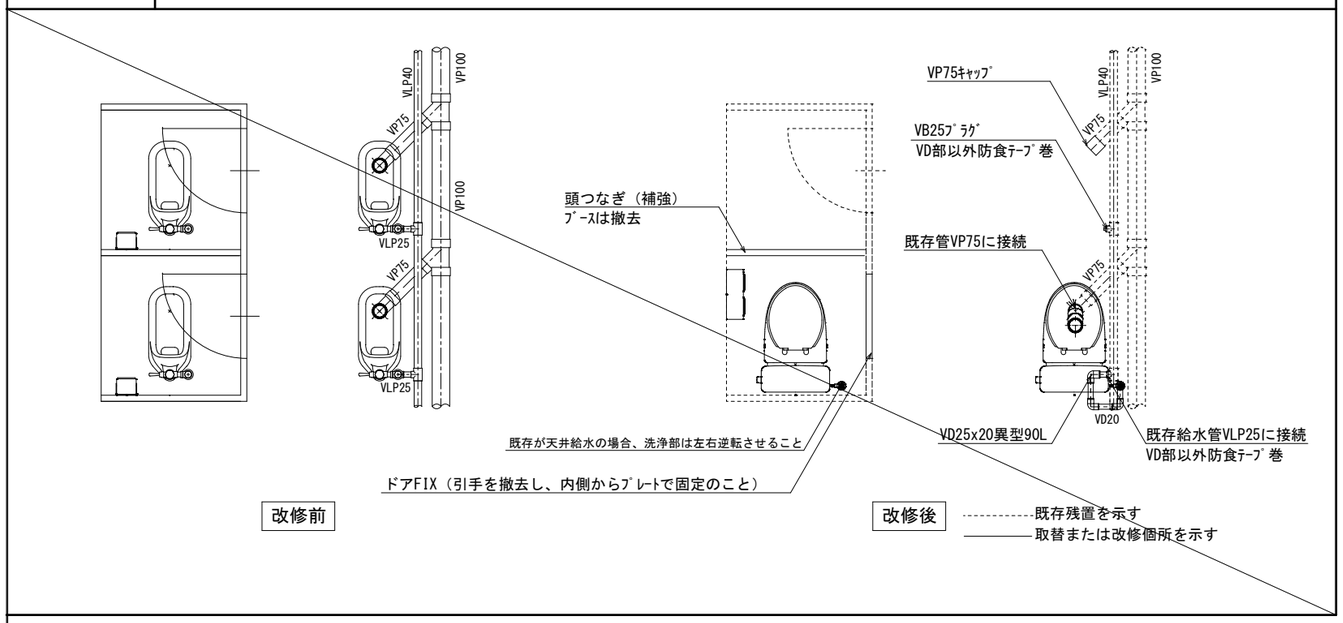
パターン９



改修前　　改修後

---------- 既存残置を示す
―――― 取替または改修個所を示す

パターン１０



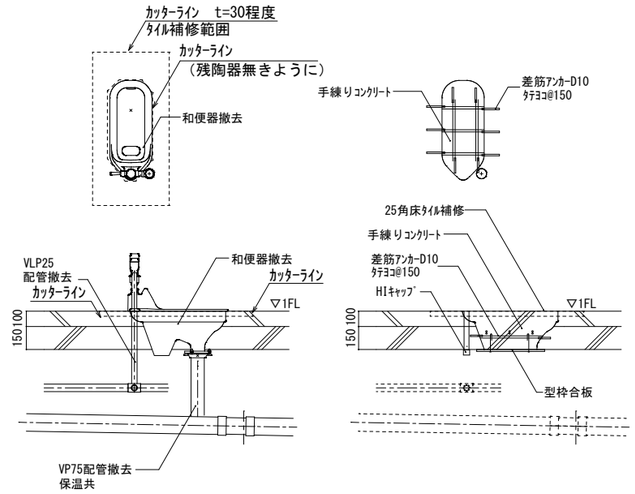
改修前　　改修後

---------- 既存残置を示す
―――― 取替または改修個所を示す

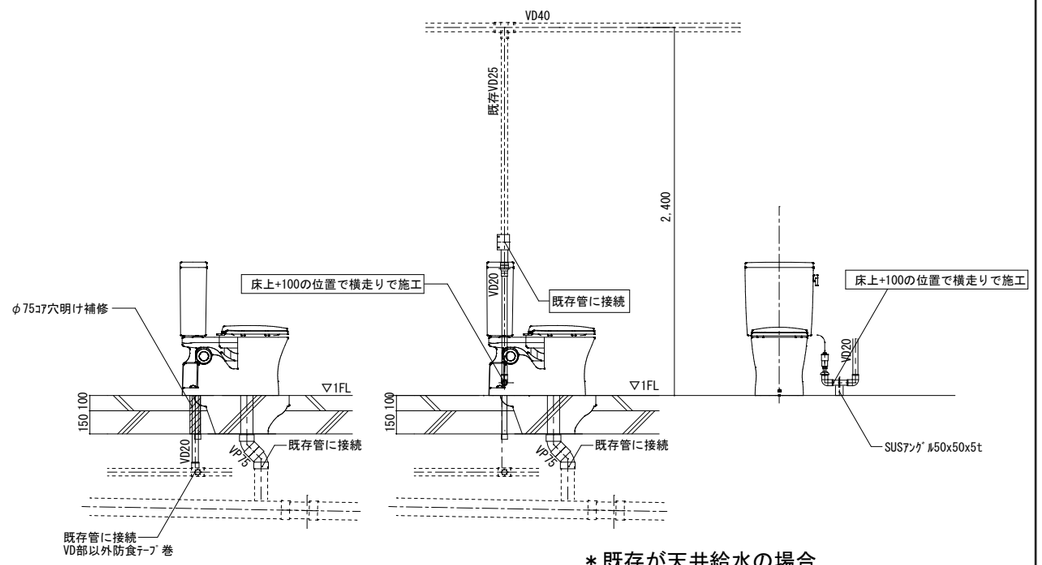
記　号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	ﾘﾓﾃﾞﾙ陶器製防露ﾀﾝｸ式,普通便座（蓋有り）	CS597BMCS,SH596BAYR,TC301	BC-P20HUM,DT-PA250HUCHTK,CF-49AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP-VD	継手(VD),ﾋﾞｯﾄ部・土間部は塗装無し,保温なし
			既存給水管より分岐、一部保温補修、防食ﾃｰﾌﾟ巻
	排水管	VP	改修個所は保温なし
			廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造	ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。	
		ドアFIX（引手を撤去し、内側からﾌﾟﾚｰﾄで固定のこと）	
		表示付きのカギへ取替えること。	
		既存ブースを可能な限り利用すること。	
	その他	床：既存（湿式）のままのこと。	
		天井：既存のままのこと。	
		壁：既存のままのこと。	

共通事項



和便器撤去跡改修要領図



＊既存が天井給水の場合

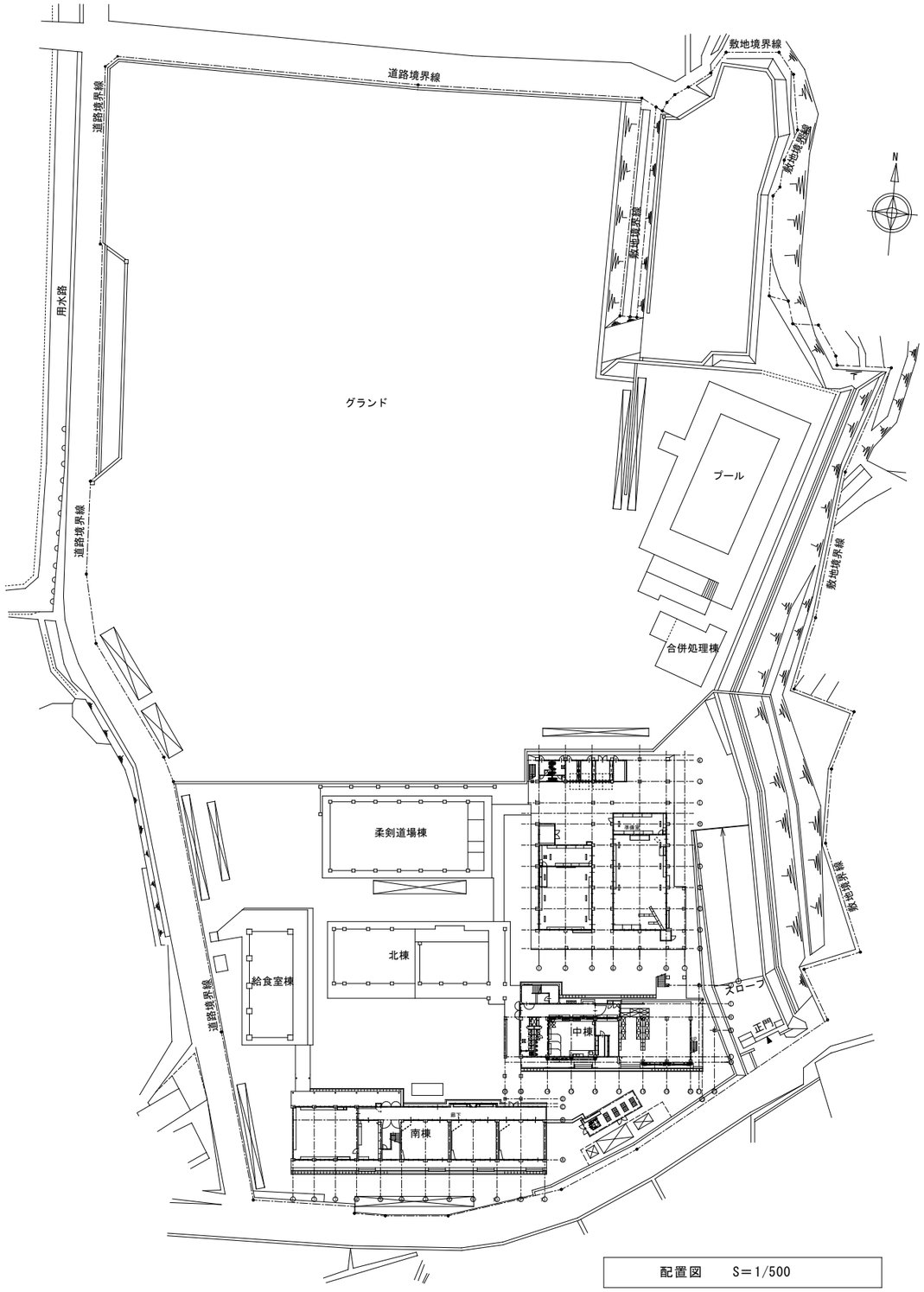
洋便器設置要領図

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）				No.		
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 屋外便所（ﾊﾟﾀｰﾝ9,ﾊﾟﾀｰﾝ１０）			縮尺 A1 1/20 A3 1/40	M-06		
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％ Ａ１版１００％

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）					No.	
図面名	岡山市域図（福田中学校、福田小学校）			縮尺	A1 1/250000 A3 1/500000	M-07	
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

縮小率　Ａ３版５０％　Ａ１版１００％

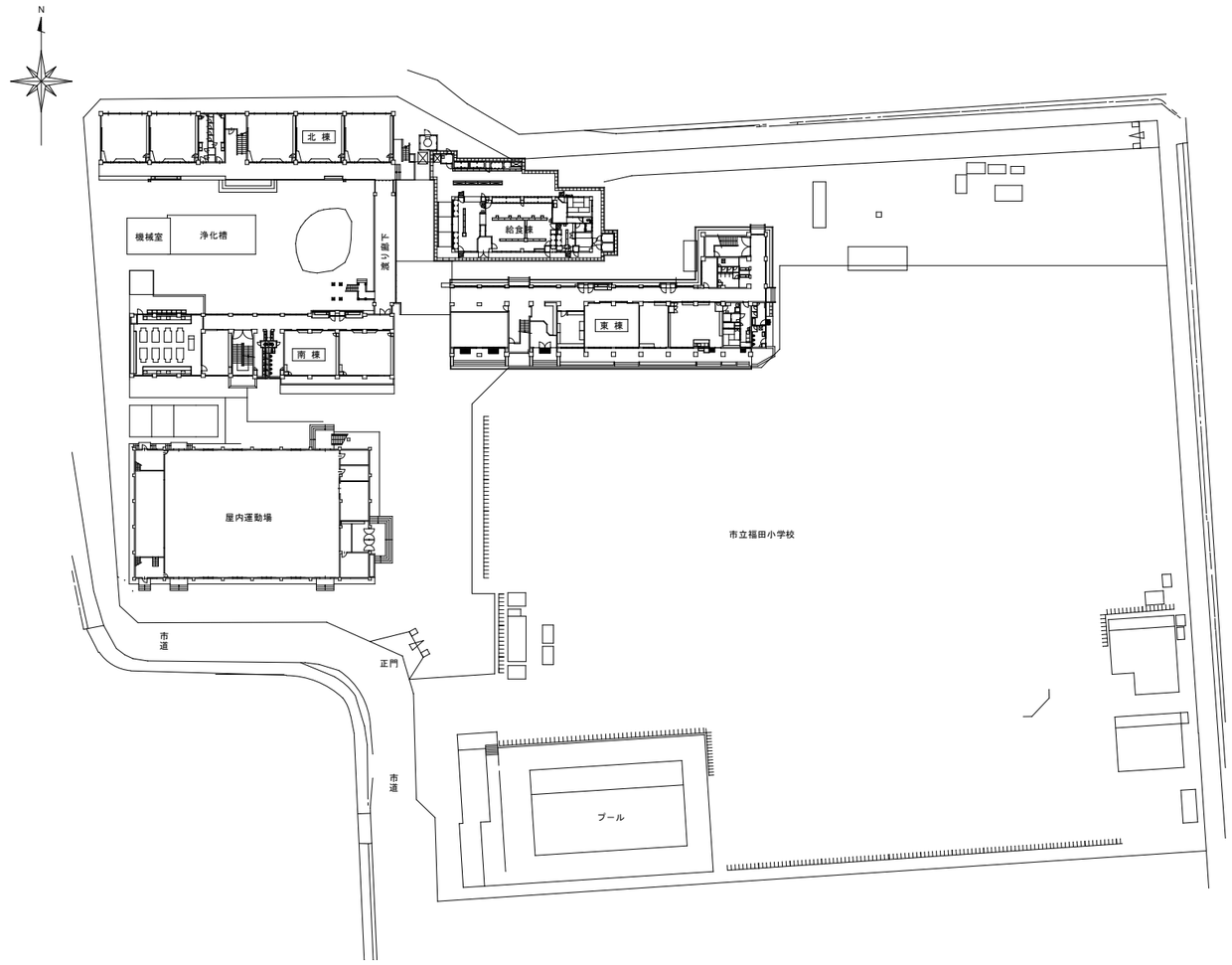


配置図　S＝1/500

棟名	階	室名	男 女 共用	改修箇所数（パターン）										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
中棟	3	児童(生徒)便所	男			1								1
中棟	3	児童(生徒)便所	女				2							2
中棟	4	児童(生徒)便所	男	1										1
中棟	4	児童(生徒)便所	女		2									2

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）					Ｎｏ．		
図面名	配置図（福田中学校）				縮尺 1/500	M-08		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課					令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員		担当者	承認	検図	製図

棟名	階	室名	男女共用	改修箇所数（パターン）										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
東棟	1	児童(生徒)・職員共用便所	男					1						1
東棟	1	児童(生徒)・職員共用便所	女						1					1
東棟	1	外部便所	男									1		1
東棟	1	外部便所	女									1		1
東棟	2	職員便所	男					1						1
東棟	2	職員便所	女					1						1
東棟	3	児童(生徒)便所西	男	1										1
東棟	3	児童(生徒)便所西	女	1			1							2
北棟	1	児童(生徒)便所	男					1						1
北棟	1	児童(生徒)便所	女					1	1					2
北棟	2	児童(生徒)便所	男			1								1
北棟	2	児童(生徒)便所	女			1	1							2
北棟	3	児童(生徒)便所	男			1								1
北棟	3	児童(生徒)便所	女			1	1							2
南棟	1	児童(生徒)便所	男					1						1
南棟	1	児童(生徒)便所	女					1	1					2
南棟	2	児童(生徒)便所	男	1										1
南棟	2	児童(生徒)便所	女	1	1									2
南棟	3	児童(生徒)便所	男	1										1
南棟	3	児童(生徒)便所	女	1	1									2
南棟	4	児童(生徒)便所	男	1										1
南棟	4	児童(生徒)便所	女	1	1									2
プール	1	屋内便所	男									1		1
プール	1	屋内便所	女									1		1



配置図　S＝1/500

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（福田中学校区）					Ｎｏ．		
図面名	配置図（福田小学校）				縮尺 1/500	M-09		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課					令和８年３月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図